

熱帯ドリームセンター及びバックヤード自動かん水装置設置業務
特 記 仕 様 書

第1条（適用）

本特記仕様書は、熱帯ドリームセンター及びバックヤード自動かん水装置設置業務（以下、「本業務」という）に適用する。なお、本特記仕様書中、（一財）沖縄美ら島財団を「甲」といい、本特記仕様書及び数量総括表に基づき、甲から委託を受けて本業務を行うものを「乙」という。

第2条（目的）

本業務は熱帯ドリームセンター及びバックヤードに自動かん水装置の設置による、植物の生育状況の改善と、業務の効率化及び負担軽減を目的とする。

第3条（業務期間）

業務期間は、契約締結日翌日から令和3年3月31日までとする。

第4条（業務内容・仕様）

乙は第2条の達成のため、次の業務を実施するものとする。

- (1) 設置にあたっては、既存施設の変更がないよう留意すること。
- (2) 既存の散水栓を使用するものとし、分岐させて通常使用もできるようにすること。
- (3) タイマー制御できるようにすること。
- (4) 図面に示すか所に最適なかん水方法を導入すること。特に熱帯ドリームセンター内では、配管ホースを目立たないように考慮して設置すること。
 - (ア) 熱帯ドリームセンター南中庭大花壇：南中庭大花壇は芝地の中に花壇を設けており、芝地をぐるりと囲むようにホースを配置し、内側に向かって散水できるようなくみとする。芝刈り機などによりホース類が破損しないよう考慮し設置する。
 - (イ) 熱帯ドリームセンター果樹温室のムクナ・ベネッティの株もとにタイマー制御で点滴かん水をする。
 - (ウ) バックヤード①：幅 2,500mm×奥行 270,000mm×高さ 1,950mmに吊り下げられた着生植物（天井から吊るした状態）への水やりのため、植物の上部に配管し、吊り下げ式のスプリンクラーを設置する。吊るした植物にまんべんなくかん水できるよう、スプリンクラーの間隔や長さ等を考慮し設置する。
 - (エ) バックヤード②：幅 3,000mm×奥行 270,000mm×高さ 1,950mmに吊り下げられた着生植物（天井から吊るした状態）への水やりのため、植物の上部に配管し、吊り下げ式のスプリンクラーを設置する。吊るした植物にまんべんなくかん水できるよう、スプリンクラーの間隔や長さ等を考慮し設置する。
 - (オ) バックヤード③：1列 54鉢×3列に並べて設置しているブーゲンビレアの8号鉢への点滴かん水。各鉢に点滴チューブを刺してかん水する。液肥を混入できる混

入器も設置する。

(カ)バックヤード④：15号温室内のハイビスカス鉢への点滴かん水。各鉢に点滴チューブを刺してかん水する。また、既存のかん水栓用のノズルも変更する。

第5条（現場説明）

本業務実施は一般競争入札により業者選定を行うが、入札公告期間中に甲による現場説明を受けること。

（現場説明を受けていることを入札参加の条件とする。）なお、現場説明の日程については、別途入札資料を参照の上、甲の総務課契約係と調整を行うこととする。

第6条（安全管理等）

乙は業務の実施にあたり海洋博公園内へ車両を入園させる必要がある場合、事前に車輛入園許可証申請書(その他)により申請するものとする。また、入園の際は車輛入園許可証の裏面に記載された公園内車両運行遵守事項および注意事項を遵守すること。

作業は、迅速に行い、建物の損傷および騒音等に留意する事。

万一、次の各項の事故が生じたときは、乙の責任において処理すること。

1. 第三者、来訪者、甲の職員及び関係者、乙の作業員の人身事故
2. 作業による全ての事故
3. 履行場所の建物とこれに付随する設備に損害を与える事故
4. その他、乙の管理責任に帰する事故

第7条（その他）

本業務の実施にあたって疑義が生じた場合は、甲乙協議をするものとし、軽微な事項については甲の指示に従い誠意を持って本業務の遂行にあたるものとする。